

2B07p09 ワサビ含有成分のI型アレルギー抑制効果

○永井 雅、奥西 勲、秋山 修一<sup>1</sup>、青木 良子<sup>1</sup>、赤松 浩彦<sup>2</sup>、奥野  
吉昭<sup>3</sup>、榎本 雅夫<sup>4</sup> (金印 (株)、<sup>1</sup> (株) エフェクター細胞研究所  
研究部、<sup>2</sup> 藤田保健衛生大・医、<sup>3</sup> (医) おくの耳鼻咽喉科、<sup>4</sup> 日本  
赤十字和歌山医療センター)

【目的】近年の研究により、ワサビの含有成分による抗炎症作用が見出されてきた。本研究では、エフェクター細胞を用いた細胞試験と、ヒト臨床試験によりワサビ含有成分のI型アレルギー抑制効果を検討した。

【方法】6-Methylsulfinylhexyl isothiocyanate (6-MSITC)、6-Methylthiohexyl isothiocyanate (6-MTITC) 及びワサビ根茎抽出物が、好酸球遊走活性とマスト細胞の脱顆粒に与える影響を細胞走化性測定装置 *TAXIScan*<sup>TM</sup> を用いて評価した。また、軽度アトピー性皮膚炎患者、スギ花粉症患者にワサビ根茎抽出物を摂取させ、各症状の改善効果を検討した。

【結果】上記成分の好酸球遊走活性に及ぼす影響を検討した結果、6-MSITCと6-MTITC、ワサビ根茎抽出物は好酸球の遊走を抑制した。また、6-MTITCはマスト細胞の脱顆粒を抑制した。軽度アトピー性皮膚炎患者、スギ花粉症患者にワサビ根茎抽出物を摂取させた結果、被験者の各症状に対する改善効果が見られた。